

森林セラピー通信  
**森のたより**  
(一社)飯南町観光協会  
☎76-9050

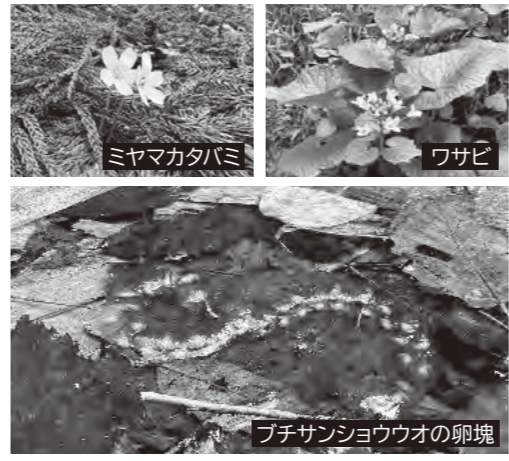
春の山開き神事&安全祈願祭

森林セラピーロード内にある、山の神様をまつる「大神山神社」、たたら神様をまつる「金屋子神社」の山開き神事・安全祈願祭が行われました。小春日の中、春風が吹き抜ける森の中に奏楽の太鼓と笛の音が響きました。午後からはセラピーロードのチップ敷き。今回は山野草園を中心に、新しいウッドチップを敷くことができました。これから森林セラピーのベストシーズンを迎えます。ぜひ来てみてくださいね。



春の山野草が次々と顔を出す

セラピーロード内の春の山野草が咲き始めました。あちこちに可憐な白い花をのぞかせているのは「ミヤマカタバミ」。葉っぱはクローバーみたいな形をしていて、かじると酸っぱいんです。これは、「シユウ酸」と呼ばれる成分が含まれているからです。葉っぱで古い十円玉を擦ってみると、ピカピカになりますよ。水辺には、自生の「ワサビ」の花が。年々株が大きくなって、立派な葉を茂らせています。



文化を感じるまちへ 飯南町文化協会

事務局(教育委員会内) ☎76・3944

この保存会は、平成27年2月に発足し、現在会員5人で活動しています。保存会発足の理由は、現在のように映像技術が発達していない時代(大正から昭和初期)、生涯をかけてふるさと飯南町を映像に記録した活動写真真弁士「吉岡長太郎さん(明治24年真木生まれ)」が残した貴重な映像の数々を未来へと語り継いでいくためです。

活動内容は、町内外のサロンや催しなどで、「弁士の解説付き無声映画」を上映しています。活動を通して、無声映画を見たことがある人に懐かしさ感じてもらうたり、初めて見る人には、弁士が話芸で楽しませる娯楽があることを知ってもらおうと共に、吉岡長太郎さんが残した映像に触れてもらったりしています。



ご覧になった人も多いことでしょう。中学生弁士「澤田四幸」



無声映画に声を乗せて、笑いを届けます

俳句

琴峯俳句会 四月の作品から

午後二時の平和の鐘や花の寺 安部 豊枝  
花びらの貼りつく礎を登りけり 石田シヅカ  
花曇世界の空はつながりて 佐々木康子  
新しき出会ひもあらむ春の声 田部智津子  
黒文字の花に誘はれ山に入る 土池 博子

全身が花の簪木五倍子咲く 柧木 豊子  
野良歩く我は無防備黄砂来る 松平富美子  
夜桜の今来し道を折り返す 八嶋 敏江  
山茱萸は山茱萸の黄に咲き満ちて 山崎智恵美  
突然の雉の鳥屋鳴峡暮るる 八嶋 昭男

短歌

赤名短歌会 四月例会詠草

徒に過ぎ逝く日日よ故郷に惜別せし日のまためぐり来る 本間 麗子  
道端を走る幼の自転車にざわめく陽気なヒメオドリコ草 星野 敦子  
朝光に桜のつぼみ啄める鳥語解ればたのしきものを 石田 フクエ  
めぐり来る花の季節に花に遇ふ花心届けたし戦火の街に 吉川 暎子  
巡りくる桜花の季節に祖母逝きし吾には今も傍らに居り 清原 豊明  
かなしみは明るさゆゑに極まりてその現実を両手でかしづく 烏田 勝信  
一陣の風が窓辺に運びくる隣りのさくら、カレーの匂い 澤田久美子  
プランターにたんぽぽぼどうしり根をはつて蕾つけおり咲くまで待とう 門所 詠子  
ランプ故程原川のミニ発電各戸にまぶしい四十ワット 澤田 勝登

今日の人権標語  
「家族でつくる人権標語」  
優秀作品から

コロナでも  
こころのきよりは  
はなれない

来島小5年 山田 夏穂さん  
家族名 山田 祐子さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

あたたかな春の陽気を感じる道を走るのにはコンビニの移動販売車「きらり号」。この日は小田真木地区を巡っていました。  
どのお宅でも笑顔で話す運転手。お客さんに商品と笑顔をお届け、次のお宅に向かいます。(P255 に関連記事)



やすらかに

4月届出分

お名前	親族	地区
藤谷 恒男様(88)	亘	(下赤名)
藤原 絹枝様(98)	満	(下赤名)
井手上儀数様(94)	護	(谷)
高橋美智子様(96)	次	(赤名)
藤原 勇雄様(83)	夫	(野萱)
白石 悟様(83)	治	(花栗)
山本 正敏様(84)	智	(町区)
日野 璋様(87)	子	(町区)

すこやかに

4月届出分

お名前	届出人	地区
安部 昂さん	友	(野萱)